

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成23年9月14日

【四半期会計期間】 第17期第1四半期(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

【会社名】 株式会社アスカネット

【英訳名】 Asukanet Company,Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長兼CEO 福田 幸雄

【本店の所在の場所】 広島県広島市安佐南区祇園3丁目28番14号

【電話番号】 082-850-1200(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役CFO 功野 顕也

【最寄りの連絡場所】 広島県広島市安佐南区祇園3丁目28番14号

【電話番号】 082-850-1200(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役CFO 功野 顕也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次	第16期 第1四半期 累計期間	第17期 第1四半期 累計期間	第16期
会計期間	自 平成22年 5月1日 至 平成22年 7月31日	自 平成23年 5月1日 至 平成23年 7月31日	自 平成22年 5月1日 至 平成23年 4月30日
売上高 (千円)	1,061,689	1,059,900	4,497,319
経常利益 (千円)	177,355	173,685	732,463
四半期(当期)純利益 (千円)	101,873	95,349	411,965
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	490,300	490,300	490,300
発行済株式総数 (株)	43,660	43,660	43,660
純資産額 (千円)	2,430,794	2,708,725	2,693,755
総資産額 (千円)	3,097,725	3,297,759	3,401,584
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	2,381.21	2,277.49	9,737.39
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			1,900
自己資本比率 (%)	78.1	81.8	78.9

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 当社には関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益は記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、本年3月11日に発生しました東日本大震災による甚大な被害に加え、原発事故による風評被害や電力供給の制約等により、先行きは不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境につきましても、震災による自粛ムードや消費の冷え込みにより、婚礼市場や一般消費者市場におきましては、厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、当社はフューネラル（葬祭）市場に対する遺影写真等画像映像のデジタル加工、通信出力を主体としたメモリアルデザインサービス事業と、デジタル写真とオンデマンド印刷の融合を目指し、一般消費者からプロフェッショナル写真家までをターゲットに個人向け写真集の作成、販売を主体としたパーソナルパブリッシングサービス事業を中心として、一つ一つカスタマイズされたモノ創りにこだわって展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,059,900千円（前年同四半期比99.8%）となり、費用面におきましては、材料費や製造設備関連の減価償却費は減少したものの、エアリアルイメージング事業の研究開発費等が増加したため、経常利益は173,685千円（前年同四半期比97.9%）、四半期純利益は95,349千円（前年同四半期比93.6%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（メモリアルデザインサービス事業）

メモリアルデザインサービス事業におきましては、引き続き画像処理の高い技術力や充実した自社サポート体制を強調した顧客開拓を進め、新規顧客を獲得するとともに、動画を用いた葬儀演出ツールやカラー額などの販売に力を注いでまいりました。その結果、全般的に順調に推移し、当第1四半期累計期間の売上高は479,277千円（前年同四半期比107.6%）、セグメント利益は160,152千円（同107.6%）となりました。

(パーソナルパブリッシングサービス事業)

パーソナルパブリッシングサービス事業におきましては、自社営業による新規顧客開拓や、インターネットを中心とした広告宣伝の実施により、業務拡大を図ってまいりました。国内業務向け市場は安定した受注をいただいておりますものの、厳しい経済情勢を背景に、海外市場および国内一般消費者市場は伸び悩みました。一方、利益面につきましては、材料費、製造経費等の抑制に努め、粗利率が上昇しました。その結果、当第1四半期累計期間の売上高は580,623千円(前年同四半期比94.2%)、セグメント利益は118,874千円(同104.4%)となりました。

(エアリアルイメージング事業)

エアリアルイメージング事業におきましては、空中結像技術の更なる研究、コンベンション参加のための準備を中心に行ってまいりました。その結果、当第1四半期累計期間に売上高の計上はなく、セグメント損失は17,481千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ103,825千円減少し、3,297,759千円となりました。これは主に、現金及び預金が46,548千円、有形固定資産が23,727千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度に比べ118,795千円減少し、589,034千円となりました。これは主に、未払法人税等が108,637千円、賞与引当金が57,100千円減少したことによるものであります。当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度に比べ14,970千円増加し、2,708,725千円となりました。これは主に、剰余金の配当として79,545千円計上した一方で、四半期純利益を95,349千円計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は21,643千円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	168,000
計	168,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年9月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,660	43,660	東京証券取引所 マザーズ	当社は単元株制度を採用して おりません。
計	43,660	43,660		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年5月1日～ 平成23年7月31日		43,660		490,300		606,585

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成23年4月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,794		
完全議決権株式(その他)	普通株式 41,866	41,866	
単元未満株式			
発行済株式総数	43,660		
総株主の議決権		41,866	

【自己株式等】

平成23年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社アスカネット	広島県広島市安佐南区祇 園3丁目28番14号	1,794		1,794	4.11
計		1,794		1,794	4.11

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成23年5月1日から平成23年7月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成23年5月1日から平成23年7月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成していません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,449	1,097,900
受取手形及び売掛金	523,599	502,581
商品及び製品	92,935	78,942
原材料	45,754	45,188
仕掛品	8,892	10,844
その他	89,857	88,511
貸倒引当金	7,532	7,950
流動資産合計	1,897,957	1,816,019
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	483,393	482,029
土地	370,758	370,758
その他(純額)	203,910	181,546
有形固定資産合計	1,058,062	1,034,334
無形固定資産		
投資その他の資産	189,905	189,230
固定資産合計	1,503,627	1,481,740
資産合計	3,401,584	3,297,759
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,129	83,187
未払法人税等	178,000	69,363
賞与引当金	110,300	53,200
その他	251,887	309,095
流動負債合計	617,316	514,845
固定負債		
長期借入金	77,723	60,473
退職給付引当金	12,789	13,715
固定負債合計	90,512	74,188
負債合計	707,829	589,034

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年4月30日)	当第1四半期会計期間 (平成23年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,300	490,300
資本剰余金	606,585	606,585
利益剰余金	1,709,764	1,725,568
自己株式	122,549	122,549
株主資本合計	2,684,100	2,699,904
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,131	1,965
評価・換算差額等合計	1,131	1,965
新株予約権	10,787	10,787
純資産合計	2,693,755	2,708,725
負債純資産合計	3,401,584	3,297,759

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	1,061,689	1,059,900
売上原価	506,804	490,705
売上総利益	554,884	569,195
販売費及び一般管理費	374,140	394,178
営業利益	180,743	175,017
営業外収益		
受取利息	88	70
受取配当金	250	250
受取手数料	274	164
その他	68	16
営業外収益合計	681	501
営業外費用		
支払利息	881	551
為替差損	3,169	1,269
その他	18	12
営業外費用合計	4,069	1,833
経常利益	177,355	173,685
特別損失		
固定資産売却損	-	499
固定資産除却損	1,401	9,965
特別損失合計	1,401	10,464
税引前四半期純利益	175,953	163,220
法人税等	74,080	67,871
四半期純利益	101,873	95,349

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
税金費用の計算 当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)
減価償却費	64,927千円	51,231千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年7月23日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	74,868	1,750	平成22年4月30日	平成22年7月26日

2 基準日が当事業年度の開始の日から当四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年7月22日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	79,545	1,900	平成23年4月30日	平成23年7月25日

2 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成22年5月1日至平成22年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	445,374	616,314	1,061,689		1,061,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	445,374	616,314	1,061,689		1,061,689
セグメント利益	148,831	113,812	262,643	81,899	180,743

(注)1 セグメント利益の調整額 81,899千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期累計期間(自平成23年5月1日至平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	メモリアル デザイン サービス事業	パーソナル パブリッシング サービス事業	エアリアルイ メージング事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	479,277	580,623		1,059,900		1,059,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高						
計	479,277	580,623		1,059,900		1,059,900
セグメント利益又は損失 ()	160,152	118,874	17,481	261,544	86,526	175,017

(注)1 セグメント利益の調整額 86,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに
帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3 エアリアルイメージング事業は、平成23年3月から開始した事業であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎

項目	前第1四半期累計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	2,381.21	2,277.49
(算定上の基礎)		
四半期損益計算書上の四半期純利益(千円)	101,873	95,349
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	101,873	95,349
普通株式の期中平均株式数(株)	42,782	41,866
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年9月9日

株式会社アスカネット

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 世 良 敏 昭

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 宮 本 芳 樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アスカネットの平成23年5月1日から平成24年4月30日までの第17期事業年度の第1四半期会計期間(平成23年5月1日から平成23年7月31日まで)及び第1四半期累計期間(平成23年5月1日から平成23年7月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アスカネットの平成23年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。